

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市子ども・子育て会議 第5回相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会				
事務局 (担当課)		こども・若者政策課 電話042-769-8316(直通)				
開催日時		平成31年3月5日(火) 午後5時45分～8時00分				
開催場所		けやき会館 職員研修所大研修室				
出席者	委員	4人(別紙のとおり)				
	その他	8人(別紙のとおり)				
	事務局	9人 (こども・若者政策課職員6人、保育課職員3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について 3 その他 (1) 平成31年度相模原市保育者ステップアップ研修について 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員・関係者の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

2 議 題

(1) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について

- 2ページ目に「コラム」として「夢」の説明が記載されているが、「コラム」と名前をつけたことに理由はあるのか。
この部分については、「相模原市子ども・子育て会議が考える「夢」とは何か」ということを説明している用語の解説になっており、本編部分と区別するためにコラムという名称にしているが、他に適切な名称があれば修正したい。
- 「コラム」とせず、相模原市子ども・子育て会議が考える「夢」とはという名称にした方がよい。
- 説明の文章に関して、子どもが日々の遊びや生活の中で持つ、「やってみたい」、「できるようになりたい等」に直した方がよい。「やってみたい、できるようになりたい」だけだと断定的であり、「等」とつけた方が幅が出ると思う。
- 今の文章だと、「夢」に対して、前に向かっていく、プラスのイメージしか表現されていないが、以前話に出た「自分を認められる」といった存在としての肯定感については盛り込まなくても良いのか。また、「つながることを願っています」という部分について、つなげることに对我们大人に責任があるという意味が込められなくて良いのか。ガイドラインを作るということは、行政にはそれを見守り、支える役割があるということ。提言自体は子ども・子育て会議だが、行政もともにあるということの意味合いとして含めるべきではないか。
- そもそも夢の定義を入れることに違和感がある。むしろ大事なのは、最後の「つながる」「願う」を誰が実現していくのかという部分だと思う。
- 大きな変更はできないため、指摘のあった、私たち大人や行政の役割について反映させるとすると、既存部分への追加記載となる。
- 「私たち」という主語を生かすのであれば、「そうした夢の実現のためには、まずは一人一人の子どもが認められ、尊重され、愛されている実感を持つことが重要です。そうした夢を積み重ねていけるように、私たちは子どもたちを支えたいと願っています」というように、私たちがそうありたいという意味で書いた方がよいのではないか。
- 行政もともにあるということを含める件については、最後の部分に「行政はもとより」といった言葉を付け加えるだけでもよいのではないか。
- ガイドラインは理念であるので、行動基盤となるもの。行政に関しては、自らの

行政運営の指針にしてほしい。

○「必要に応じて見直し」という記述があるが、必要性があるとは、いつ誰がどこで決めるのか。行政としてはどのように考えているか。

子ども・子育て会議の中で定期的に見直しをしていく予定である。

○「必要に応じて」ではなく、「今後、定期的に」とした方が良いのではないか。

○このガイドラインの活用として、新たな保育園等の設置認可の審査の際に、配置基準に加えてガイドラインの内容も審査項目に加えるといったことも記載しておいた方が良くと思う。

○審査の際にも活用してほしいが、その内容をガイドラインに入れ込むことは難しいと思う。これは事業者だけでなく広く市民に対しても伝えるものであるため、その点については他の部分で「審査の際に活用します」と添える程度で良いと思う。

○活用も大事だが、保護者にどのタイミングで配布するのか。保護者がガイドラインを知る機会がないのではないか。

○保護者にどのようにしたら届けることができるかということ具体的に考える必要がある。以前から話している漫画版の作成など、普及・啓発を事業計画に盛り込むことも必要だと思う。

3 その他

(1) 平成31年度相模原市保育者ステップアップ研修について

事務局より、平成31年度のステップアップ研修の内容について報告がされた。

4 閉会

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会委員名簿（五十音順）

名 前	所 属	出 欠
朝比奈 太郎	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
荒井 美由紀	相模原市立小中学校長会	出席
岡 健	大妻女子大学家政学部児童学科教授	出席
永保 貴章	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席

部会長

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会関係者名簿（五十音順）

名 前	所 属	出 欠
安藤 抄苗	保護者（元公募市民）	出席
岩本 勉	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
遠藤 美智子	相模原市大沼保育園園長	出席
大野 計子	相模原市ふじの幼稚園園長	出席
神尾 美香子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
齋藤 正典	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
佐藤 由起	相模原市教育局学校教育課	出席
園田 巖	東京都市大学人間科学部准教授	出席